

子供を中心に流行する感染症について

1 感染症名、主な症状等

	ヘルパンギーナ	RSウイルス感染症	手足口病	咽頭結膜熱（プール熱）
主な症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 突然の高熱で発症し、口の中の奥の方に水疱や潰瘍ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、倦怠感（元気がない等）など、かぜに似た症状です。 ● 肺炎を起こすなど重症化することもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 口の中、手のひら、足の裏などに、発しんや水疱ができます。あまり高い熱は出ません。 ● 重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発熱、咽頭炎（のどのはれ）、結膜炎（目の充血）などの症状があらわれます。
原因ウイルス	エンテロウイルス属のウイルス（コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルス71型等）	RSウイルス（Respiratory Syncytial Virus）	エンテロウイルス属のウイルス（コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルス71型等）	アデノウイルス
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染 ● 水疱の内容物や便の中のウイルスが、手を介して口や眼などの粘膜に入ることによる経口及び接触感染 ● 咽頭結膜熱は、感染力が強く、プールや温泉施設などでの感染もあることから「プール熱」とも呼ばれています。 			
治療	<ul style="list-style-type: none"> ● つらい症状をやわらげる対症療法が中心です。 ● 咽頭結膜熱は、眼の症状が強い場合は眼科での治療を行います。 ● ワクチンや特効薬はありません。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事や水分がとりにくくなり、脱水症状をおこすことがあります。水分補給に努め、柔らかく、刺激の少ない食事を工夫しましょう。 ● ぐったりしている、呼びかけに対する反応が鈍い、意味不明の言動がみられるなどの症状が現れた場合はすぐに受診しましょう。 ● 特にRSウイルス感染症については、小さなお子さんにかぜのような症状が見られ、熱が38度以上に上がる、呼吸が浅く速くなる、ゼイゼイと咳が続く、痰が詰まる、急にぐったりするなどの様子が見られたときは、早めに医療機関を受診しましょう。 中でも、生後6か月未満の乳児や低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある方の場合は、重症化しやすいとされるため注意が必要です。 			

2 感染予防のポイント

お子さん

- こまめな手洗いを習慣づけましょう
(手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防策です)
- お子さんが理解できる範囲で咳エチケットを心がけましょう
(人に向けてくしゃみをしないなど)

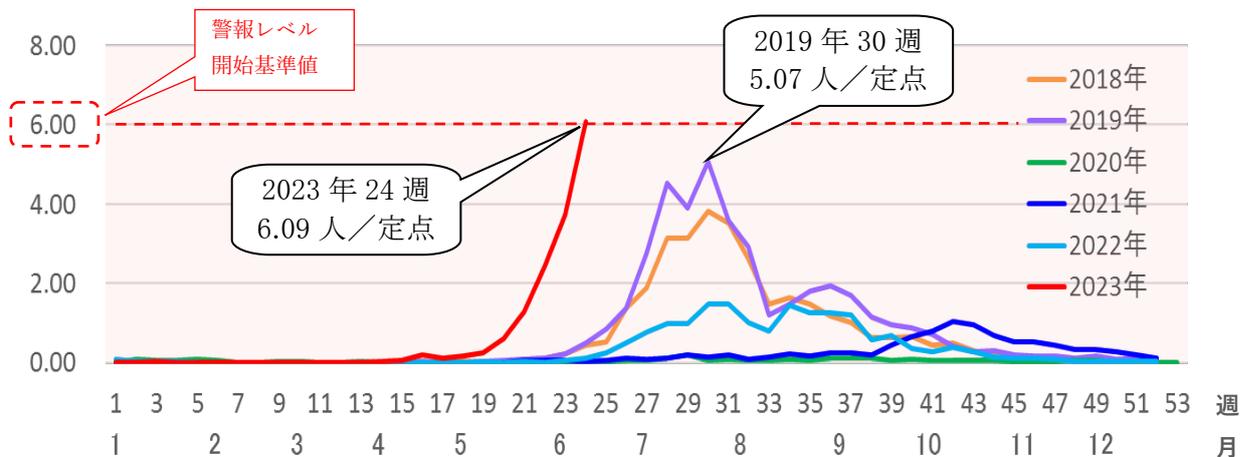
保護者の方や保育所等の職員の方

- 手指衛生や咳エチケットなど、感染防止にこころがけましょう
- お子さんに咳などの症状のある場合は、登園を見合わせるなど無理をさせないように配慮しましょう
- 症状がおさまった後も、患者さんの便の中にはウイルスが含まれますので、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前には手洗いを心がけましょう
- 保育所、幼稚園、学校などの集団生活では、タオルの共用は避けましょう
- 先天性心疾患、慢性肺疾患などがある場合は、かかりつけ医に相談し、感染予防や病気にかかった場合の対応について、助言を受けておきましょう

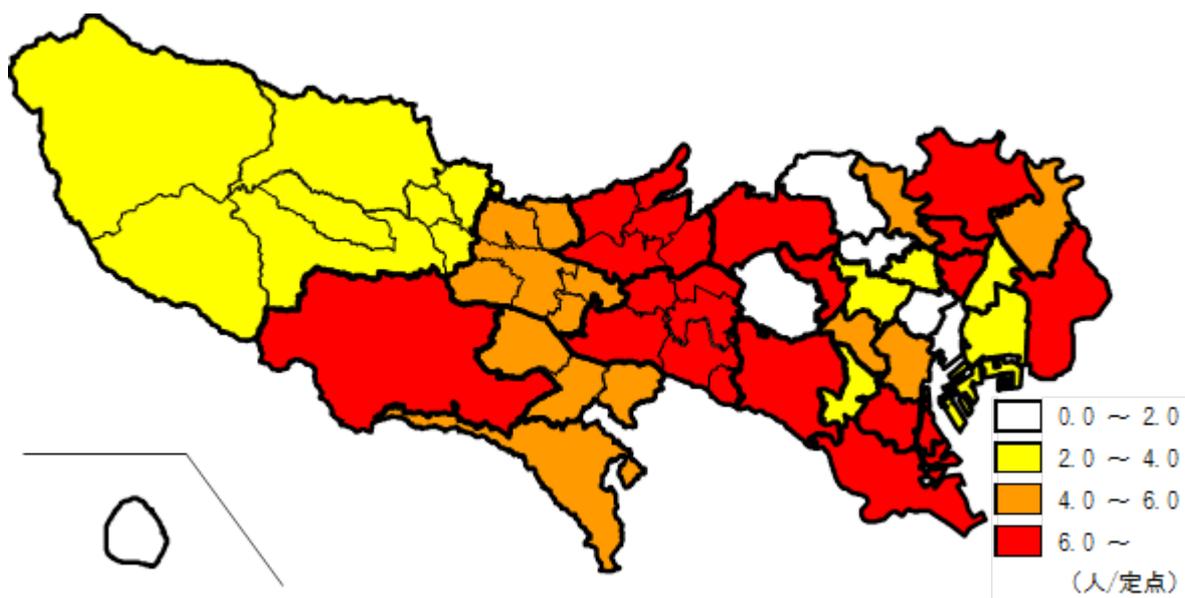
咳エチケット

- ① 咳が続くときはマスクをつける
- ② 咳やくしゃみの際にはティッシュなどで口や鼻を押さえる
- ③ 咳やくしゃみがほかの人に直接かからないようにする

東京都における定点当たり患者報告数(ヘルパンギーナ)(過去5シーズン)



東京都におけるヘルパンギーナの発生状況(保健所管轄地域別)(2023年第24週)



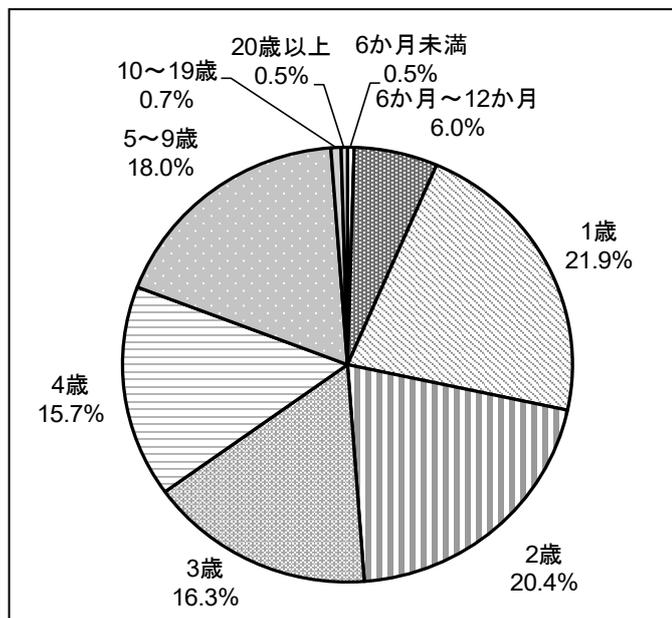
- 発生状況(定点当たり患者報告数)の塗り分けは、各保健所の管轄範囲が単位(例えば、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市は全て、管轄する多摩小平保健所における発生状況に対応した色で塗り分けられている)です。
- ヘルパンギーナについては、「保健所単位で定点あたり6.0人/週を超えてから2.0人を下回るまでの間」を警報レベルとしています。現在、警報レベルにある保健所は、都内31か所中12か所で、報告数が高い順に、八王子市(13.36)、多摩小平(11.00)、江戸川(9.00)、多摩府中(8.43)、練馬区(8.42)、荒川区(8.00)、大田区(7.92)、世田谷(7.88)、台東(7.25)、中野区(6.83)、足立(6.58)、品川区(6.50)です。

※ 最新の情報については、東京都感染症情報センターのウェブサイトをご覧ください。

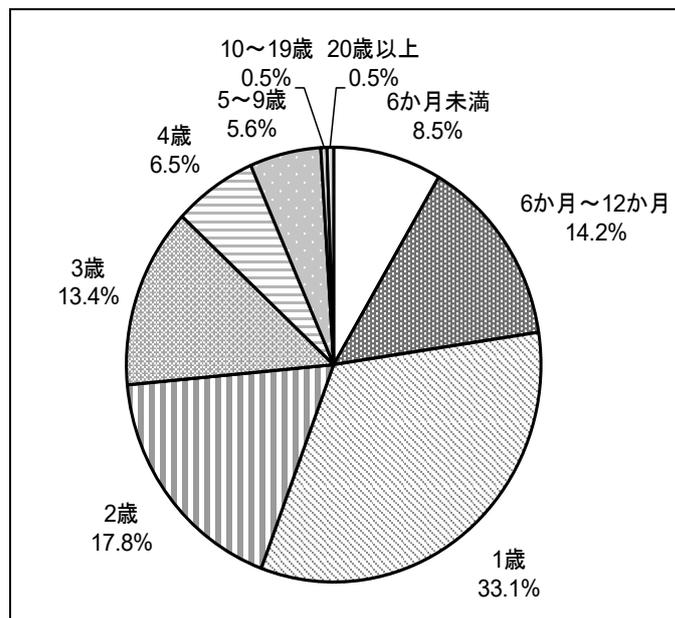
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

患者報告数の年齢階層別内訳(2023年第1週から第24週分)

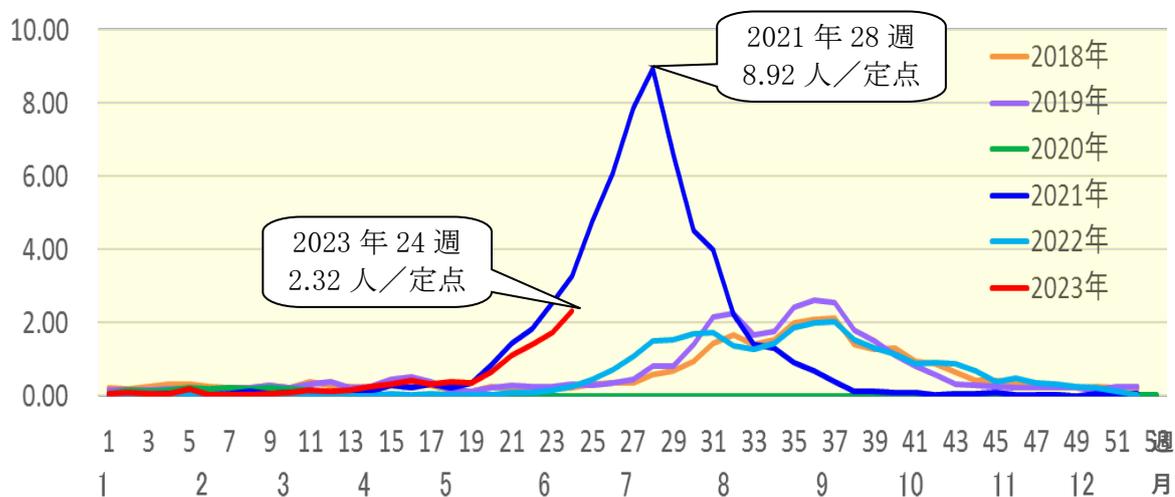
ヘルパンギーナ
累計報告数 (n=3,981)



RSウイルス感染症
累計報告数 (n=2,719)



東京都における定点当たり患者報告数(RSウイルス感染症)(過去5シーズン)



(参考)手足口病及び咽頭結膜熱(プール熱)の発生状況(第24週分)

手足口病の定点当たり患者報告数は0.73人(警報開始基準値は5.0人)、
咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は0.52人(警報開始基準値は3.0人)